

令和4年度 学校評価(自己評価)結果公表シート

令和5年3月15日
足利短期大学附属幼稚園
園長 都丸 洋一

1. 幼稚園の教育目標

仏教精神に基づき「広くやさしい心をはぐくむこと」を教育方針とし下記5項目を教育目標とする

1. のの様、ご先祖さまを大切にする。
2. 命あるものを慈しむ。
3. 明るく元気で友達と仲良くする。
4. 優しい思いやりの心を育てる。
5. 我慢強く努力する力を養う。

2. 本年度に取り組む重点的目標

1. 基本項目(教育目標や日常業務への取組み)の実践
2. 子どもとのかかわり(園児教育に対する取組状況)
3. 保育環境(教室や遊具など)の整備
4. 保護者とのかかわり(園児に対する情報共有や保護者とのコミュニケーション向上)
5. 職場内外における関係者とのかかわりと自己啓発

3. 重点的目標の達成及び取組状況の自己評価(総合評価)

※教職員が1学期および2学期に自己評価を実施。その結果を分析し園としての本年度総合評価を行った。

評価項目	園評価	理由
1. 基本項目の実践	4	・年間指導計画の立案や実践は着実に実施している。 ・清掃や消毒は念入りに実施しており基本項目の実践は良好であった。
2. 子どもとのかかわり	3	・仏教行事などを含め教育目標に沿った教育が概ねできた。 ・やや課題のある園児への支援について、個別の対応はしっかりできたが園全体としてのかかわりがやや希薄になっている。
3. 保育環境の整備	4	・防火訓練や不審者侵入訓練など定期的実施している。 ・バスの整備・点検や施設の安全点検など特段の問題は見られず良好であった。
4. 保護者とのかかわり	4	・コロナ禍において感染対策を十分にとりながら保護者との関わりや教員と保護者とのコミュニケーション向上を図ってきた。

評価項目	園評価	理由
5. 職場内外における関係者とのかかわりと自己啓発	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新は適宜対応し、最新の情報を発信している。また、「れんらくアプリ」を活用しリアルタイムな情報伝達を行なっている。 ・教職員は積極的に外部やリモートでの研修に参加してきた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画に対する総合的な評価結果

結果	総合評価	理由
全体として良好な状態といえることから「4」と評価できる。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が自己評価(自分の行動を評価)した結果はやや厳しめな評点となっている。 ・項目によってはやや課題が見られる部分もあるが、園全体として総合的に見れば概ね良好であったと言える。

◎「3. 4.」の評価結果

5 とても良くできた 4 良くできた 3 概ねできていた
2 あまりできていない 1 できていない

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
「基本項目の実践」の一部項目で改善すべき点がみられた	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価結果をみると「教育や保育の指導方法についての工夫」がやや不足している状況にある。 教室内外の活動において過去の指導方法にとらわれず、コロナ禍においてできる新たな教育活動を模索していく。
「子どものかかわり」のうち、やや課題の見られる園児に対する支援体制の改善が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・やや課題のある園児に対し、教職員打合せで情報共有を行ない担任や担当教員が支援をしてきた。今後の対応と環境構成等を含め園として方針(対応方法)を明確にして支援教育をすすめていく。
「職場内外における関係者との関わり」で一部改善が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流がまだ不足しているとの自己評価結果がある。 コロナの状況によって改善(交流を深めること)は厳しい面もあるが、コロナ前に行っていた交流が復活できるよう、コロナ対策を考慮しながらすすめていく。